



制 服

校 長 山 口 聡

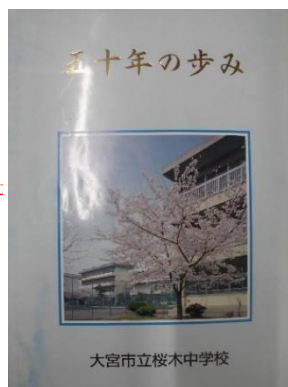
10月28日(木)、ポディーパーカッションの発表会を開催しました。クラスごとに工夫を凝らしたもので、表現豊かな発表と生徒諸君が真剣に取り組む姿に感動しました。新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少により、10月より緊急事態宣言が解除され、学校も少しずつではありますが、様々な活動に取り組めるようになってきたことをうれしく感じています。

さて、11月1日は、本校の開校記念日です。本年度で開校75周年となります。校長室には卒業アルバムをはじめ、桜木中学校の歴史を伝えるものが多数あります。4月から多くの資料を読ませていただきました。そして、開校50周年の時に作られた記念誌「五十年の歩み」の中に新しい制服についてのことが書かれていました。



開校当時の桜木中学校

現在、桜木中学校の制服はブレザーとチェック柄のズボンまたはスカートが基本となっています。私は桜木中の制服が時代にあったすっきりとしたデザインであると感じています。それ以前は男子が黒の詰襟、女子が紺色のブレザーとスカートであったようです。開校50周年にむけて平成8年度から「リフレッシュさくらぎ50」のもと様々な取組がされました。その一つとして現在のデザインの制服が決められ、平成9年度の新入生より導入されたのです。



開校50周年記念誌

時折、メディアで学校の校則の見直しについてのニュースがみられるようになりました。本校でも、校則の見直しを生徒と教職員が共に考え、時代にあったより良いものに改善することに取り組んでいます。

ブレザーの制服は、当時の人たちが新しい桜木中の歴史を作り上げていこうとの思いが詰まったものだと感じます。生徒諸君には、ぜひその思いを大切に、これからもスマートに美しく制服を着用してほしいと思います。